

地域に支えられ地域とともに歩む学校

阿賀野市立堀越小学校

1 はじめに

堀越小学校は、阿賀野市、旧水原町南部の農村部に位置する学校です。平成22年度に創立100周年を迎え、地域の方と盛大な記念式典を行いました。保護者の多くは堀越小学校の卒業生で、保護者同士の強いつながりがあり、PTA活動が盛んで、地域の学校に対する愛着が深く、学校への力強いバックアップ体制があります。

活発なPTA活動を中核として地域とつながり、学校から地域に文化を発信することで、地域とともに歩む学校づくりを進めています。

2 PTA活動をととした地域連携

当校のPTA活動は、保護者の主体性が発揮され、保護者主導の活動が多くあります。地域には歴代のPTA役員も多く、保護者同士、役員同士のつながり強い関係で、PTAをととして学校が地域とつながっています。以下に、保護者が主体となって行われているPTA活動を2つ紹介します。

◇ほりこしひろば

「ほりこしひろば」は、PTAの三役が企画から運営まで主担当となり、保護者、児童に広く参加を募って実施している行事です。本年度は年間4回予定されています。内容は「こいのぼり大作戦」「沢のぼり」「五頭登山」「エプロンキッズ」です。「こいのぼり大作戦」は、阿賀野市の催しで、瓢湖あやめまつりの一環として、市内の各団体が自前のこいのぼりを作り、瓢湖のほとりに揚げるものです。そこに堀越小学校もPTA活動として主体的に参加しています。



ほりこしひろば 沢のぼり

◇親子で1日OOデー

これは、昨年度のPTA役員の発想で、本年度から始まった新たな取組です。家族で話し合って決めた1つのことに、夏休み期間中に取り組もうというものです。例えば「親子で1日ノーメディアデー」「親子で1日1時間ウォーキングデー」など、内容はなんでも良いのです。それぞれの家庭の取組については、絵日記のような形にまとめ、夏休みの宿題として学校に提出し、文化祭で展示し、地域の方々にも見ていただく予定です。

3 地域の文化の継承と新たな発信

◇たるばやし（水原甚句）

堀越小学校では、たる太鼓を中心に、横笛と鐘、長胴太鼓で演奏する「たるばやし」があります。その「たるばやし」で6年生が水原甚句を歌つきで演奏しています。

これは、26年前、堀越小学校に勤務していた宮田教諭が、他校の小学生が演奏するたる太鼓を聞き、「堀越小学校の子どもたちにも演奏させたい。」「堀越小学校の財産にしたい。」という強い思いから始めたものです。そして、地元の水原甚句を、たる太鼓に合わせてアレンジして完成させました。楽譜はなく、見て聴いて、手とり足取り、子どもたちから子どもたちへと代々受け継がれています。当時は、酒屋さんで醤油の入っていた樽をもらい、乾燥してたたいたことで壊れないように、湿らせては大切に使っていたそうです。今は、丈夫な樽と、お揃いのほっぴを着て演奏しています。



水原祭りオープニングでの
「たるばやし」の演奏

演奏場面としては、運動会の昼の出し物の水原甚句があります。子どもたちの「たるばやし」に合わせて、地域の水原甚句保存会の皆さんをはじめとする地域の方、保護者、全校児童が一体となって踊ります。また、地域の大きなお祭りである、水原祭りのオープニングイベントでも演奏し、水原祭りを盛り上げると同時に、地域の人たちに親しまれ大事にされています。